

# 隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1  
電話：72-1191 (FAX兼)  
E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



## 医師を招いて講演を聞きました 下榎女性部が研修会

4月13日、下榎女性部が、研修会として、鳥取大学医学部附属病院の井上和興医師を招き、「いい死にかたつてなあに？」と題して講演会を開きました。

最初に軽く体操をして体をほぐしたあと、スライドを使って講演を行い、途中からグループに分かれて家族の臨終について体験したことを話し合いました。



3月まで日野病院に勤務していた井上医師

たり感じたことや、また、参加者が医療について疑問に思ったことなど話し合いました。

## 「ハンセン病の近代史」刊行と講座のおしらせ

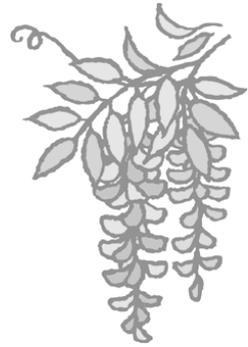
戦前から戦後にかけて、鳥取県は県内のハンセン病患者すべてを岡山県の国立療養所長島愛生園に送り込もうとする「無理な県運動」を推進してきました。

この近代史は、昭和13年発行の冊子「鳥取県無癩運動概況」を手がかりに、愛生園所蔵資料や入所者の聞き取り等を通じて明らかとなった鳥取県の無らい県運動の実態を解明し、国策としての隔離政策の中に位置づけたものです。日野総合事務所県民局で1冊500円で配布しています。のご利用ください。

場 米子市文化ホール  
日時 5月25日(日)午後2時30分～午後4時  
加えて、5月25日(日)午後2時30分～午後4時、米子市文化ホールで開かれます。どうぞご参加ください。

## 一緒にやってみよう

まず、次の6つの文章を読んでみましょう。  
路上で交通事故がありました。  
大型トラックが、ある男性と彼の息子をひきました。  
父親は、即死しました。  
息子は病院に運ばれました。  
彼の身元を病院の外科医が確認しました。  
外科医は、「息子、これは私の息子！」と、悲鳴を上げました。



## 相談事業について

隣保館で、町内全域を対象に広く相談事業を行っていることをご存じですか。毎月第1、3水曜日に相談日を設置して、生活相談員をはじめ皆さんからの相談ごとを受け付けています。どうぞ、お気軽にご利用ください。

連絡先 下榎隣保館 (電話 72 1191)

6月の学習講座予定  
■編み物 14日(土) 午後1時～  
老人憩の家 (講師 安達利子さん)  
■生け花 17日(火) 午後7時30分～  
下榎集会所 (講師 生田清子さん)  
日程など変更になることがあります。詳しくは下榎隣保館へどの講座も2時間の予定です。お気軽に参加ください

# 人権のまち ひの

2008年5月

## 町人権・同和教育推進協議会総会・ 研修会を開きました

4月23日、山村開発センターで自治会長や各組織・団体などの代表者ら会員87人が出席し、2008年度総会が開かれました。

景山享弘会長あいさつ  
(趣旨)  
国内では多くの事件が毎日のように起こっています。高度経済成長を目指しひた走ってきた結果、民主主義をはき違え、「自分さえ良ければよい」という考え方が多くなつた結果ではないのかと私は思います。これまで同和教育で人権を大切にすることを学んできたのに反対のことが起きており、とても残念です。

あらゆる差別に対する問題を解決するため、一年間の活動方針などを十分審議いただき、誰もが安心して住める・

きますようお願いいたします。

決算案・事業計画・予算案を決定

総会では、2007年度事業報告・決算、2008年度事業計画案・予算案が審議され、本年度は小地域座談会を全自治会で開くこと、また町研究会と小地域座談会の内容の統一や、会社、組織・団体などで研修会を積極的に開くことなどが承認されました。

事業報告 小地域座談会、町研究会の開催、また各種研究会・大会等への参加など  
収支決算 収入総額33万2039円、支出総額32万9702円、差引繰越金2337円  
本年度推進目標 生活の中のさまざまな問題に対し「人権と福祉」を基調として、小地域座談会や研究会、また団体や組織、会社などで学習に努める  
重点目標 安心・安全な地域づくりのための小地域座談

会の開催 小地域座談会につながる人権・同和教育研究会の開催 部会研修および広報活動の充実 人権講座の充実 人権課題調査、交流事業 収支予算 収入支出の総額はそれぞれ40万2500円。支出の主な内容は、各部会の研修費11万円。研究会・人権講座・大会参加費用等20万円など。

主な意見・質問の概要  
意見Ⅱ 小地域座談会推進員研修会の講師は町内の人で、ま



今年度もさまざまな活動を行います

た推進員どうしの意見交換も必要なのは  
回答Ⅱ ご意見を尊重します  
意見Ⅲ 小地域座談会を全自治会で開く具体的な推進方法は  
回答Ⅲ 自治会長のご理解をいただきたい。役員会で推進方法を検討します。

意見Ⅳ 研究会と小地域座談会をつなぐためには、11月の研究会開催は遅いのではないかと。研究会を6月くらいにするとか、来年度の小地域座談会につなぐ考え方もできるのではないかと  
回答Ⅳ 年度をまたいだつながりも想定させていただきます

会長Ⅱ 毎年度座談会を開かれる自治会と、5年以上開かれていない自治会があります。こういう問題があり開けないなどごつくばらんに相談いただき、今年はずむらしの中や地域の人権問題を考えていただいで全自治会での開催をお願いしたい。

協議会からのお願い  
各自治会では小地域座談会を、また協議会各部会や組織や団体・会社内の研修会を積極的に開いていただきますようお願いいたします。

※総会終了後に行った研修会の様子は次回お知らせします